

明日香村小委員会報告（案）の概要

1. はじめに

- ・明日香村は、我が国の律令国家が形成された時代における政治及び文化の中心的地域
- ・現在、第4次明日香村整備計画に基づく取組みが進められており、明日香村を巡る社会情勢の変化や同計画の進捗状況も踏まえつつ、当面取り組むべき措置、将来的な取組みのあり方について報告

2. 明日香村を巡る現状とこれまでの取組みの評価・課題

■明日香村の現状

- ・少子高齢化、人口流出により担い手が減少し、田園景観・里山景観への影響が懸念
- ・来訪客数が低迷し、村の財政状況も依然厳しく、明日香村整備基金の運用益も依然として低迷

■これまでの取組みの評価・課題

○制度導入から第3次明日香村整備計画までの取組み

- ・古都指定とともに、地域住民の理解と協力の下に歴史的風土を保存していくため明日香法を制定
- ・3次にわたる整備計画が住民生活の安定と利便性の向上に寄与する一方、歴史的風土の創造的活用の視点に基づく取組みが第3次整備計画以降に開始

○第4次明日香村整備計画に基づく取組みの進捗状況

- ・現在は、第4次整備計画に基づき、4つの基本的方向性に基づく取組みを実施

「国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進」

- ・飛鳥京跡苑池整備や史跡の発掘調査等は順調に推移し、遺構のCG復原映像も成果を見せるが、歴史展示に関して関係主体間の役割分担と連携が課題

「歴史的風土の維持・向上」

- ・景観阻害要因が改善され、集落単位の景観計画が作成される一方で、ボランティアの窓口対応や集落活動の継続が困難になってきている

「歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上」

- ・農産物加工所の開設や新規就農者支援、集落営農が一定の効果を上げる一方、農の担い手不足、耕作放棄地の増加が依然として課題
- ・スマートフォンを活用した観光ナビの構築、民泊や教育旅行による交流人口の増加、飲食店舗の数や質の向上の一方、魅力的な情報発信、体験メニューの充実、滞在型観光への対応が課題
- ・新規就農や観光産業への従事など、明日香ならではの住まい方の実現に向けた施策との連携が不十分

「生活環境基盤整備の推進」

- ・明日香村近隣公園開園など一定の成果

○「明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金の成果」

- ・明日香らしい景観の維持向上など、地域の主体的な取組みの支援に相当の効果を発揮

3. 当面取り組むべき施策のあり方

■当面の取組みの方向性

- ・第4次整備計画は総じて順調に進展、特に歴史的風土の創造的活用の視点に基づく取組みの成果が現れつつあり、当面は現計画の方向性を継続すべき

■当面の施策のあり方

○「国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進」

- ・国・県・村の分担や連携を整理しつつ、万葉文化館の整備、CGの活用、発掘調査、遺跡の整備等を推進

○「歴史的風土の維持・向上」

- ・企業やボランティアの受入れの仕組みや体制の強化、集落単位の景観計画の他地域への拡充

○「歴史展示及び歴史的風土を活用した地域活力の向上」

- ・農地の流動化や農作業の受託推進、新規就農者支援の体制強化、農の6次産業化による高付加価値化

- ・明日香ならではの空間や体験の充実、明日香に関する統一的な情報発信、EV車導入など周遊交通の検討、滞在型宿泊施設の整備、民泊や教育旅行の推進、自然溢れるトレイルウォーキングの推進

- ・空き家バンクの運営体制や制度の強化、子どもたちへの地域学やガイド経験の推進

○「生活環境基盤整備の推進」

- ・地域住民の理解と協力の下での整備の推進

■当面の支援のあり方

- ・奈良県を中心とした定期的な状況把握・検証・評価、国・県による計画達成に向けた努力や支援
- ・明日香村の主体的な取組みによる活性化を図るため、平成27年度以降も交付金を継続し、あわせて観光・交流による魅力向上の取組みへの支援を図るべき

4. 将来的な取組みのあり方に向けた今後の議論の方向性

- ・人口減少・超高齢化の急速な進展など、中長期的な社会経済状況の変化を今後も見通しつつ、明日香村における将来的な取組みのあり方について、次期整備計画の策定期間までの間に、更に議論を進めるべき

■明日香村の将来像

○「守られるべき明日香村の歴史的風土」

- ・村全域にわたり多数存在する歴史的文化的遺産と周囲の自然的人文的環境が一体をなして形成している総体

○「明日香村の価値の捉え方」

- ・日本人の心のふるさとであり、東アジアとの交流文化、万葉集に詠われた風土、村民の生活が価値を形成し、規制と整備がその価値を高めている事を前向きに認識

○「明日香村の歴史的風土保存のための枠組み」

- ・土地利用規制と住民生活の調和に加え、村民の自主的・主体的な活動の観点での枠組みの検討

○「歴史的風土を活用した明日香村の活性化」

- ・地域産業振興、移住・定住の促進、ブランディング

○「地域住民及び国民の理解協力・積極的な関与」

- ・村民の生き方や活動への若者の主体的な関与、集落毎の取組みへの支援、国民負担のあり方の検討

■将来的な取組みの基本的方向性

○「歴史的文化的遺産の保存と活用」

- ・スケールを体感できる飛鳥宮跡中心部の整備の検討
- ・文化庁の検討会の議論を踏まえつつ、高松塚古墳壁面の保存管理・公開等に向けた検討

○「歴史的風土にふさわしい景観の形成」

- ・マスターアーキテクト等による修景指導・助言

○「地域産業振興による地域活力の向上」

- ・教育旅行など交流事業の国際展開
- ・万葉集を活かした広域連携による情報発信、観光推進
- ・周遊観光に適した交通システム構築等の推進

○「歴史的風土を支える担い手の育成と確保」

- ・若者の生活基盤の検討、集落の担い手が暮らしやすく、移住・定住者が求める魅力的な村づくり

○「歴史的風土と調和した生活環境基盤の整備」

- ・施設の老朽化への対応、wi-fi等情報通信基盤の整備